

405) 誰よりも君が好き

花びらが川を流れて	またひとつ季節が移る
街路樹は夏に向かって	新しい緑に着替え
風に舞う君への愛は	今はもう過去のため息
倅せは遠ざかり	幻が消えてゆく
この愛がふりかえるなら	人ごみをかきわけてでも
今すぐに君とすごした	歳 <small>さいげつ</small> 月をさかのぼりたい
ひたむきな君のまなざし	追いかけて年をとりたい
目を閉じて思い出す	君がいたあの季節
美しい君の姿が	あんなにも優しかった日
歳月の中忘れかけてた	恋心われにかえった
掌 <small>て</small> の中でひとつひとつの	思い出を温めてみる
ときめいたあのころが	鮮やかによみがえる
いつの日か生まれ変わって	もう一度君に逢えたら
今度こそぼくの心を	違わずに重ね合わせて
どんなにか辛いときでも	君のため生きてゆきたい
誰よりも君が好き	君だけを愛してる